

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2021年度)

専門分野区分	社会科学	科目名	技術者のための現代国際事情				科目コード	SL501A2		
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	2 単位		
担当教員名	三浦 光帆	履修グループ	選択				授業方法	講義		
実務経験の内容										
学習一般目標	<p>マスメディアでは日々、様々な国際問題が報道されている。その中には、法や政治の基礎知識を有していなければ、十分に理解できないものがある。本講義では、現代国際事情を理解するのに必要な基礎知識を学ぶことを主眼としている。また、自らが関心のあるテーマについて発表する機会を設けることで、表現力を伸ばすことを目標としている。</p>									
授業の概要および学習上の助言	<p>法的問題から文化論に至るまで、様々な分野について講義を行う。この講義では、テーマに関係する質問や発言は高く評価される。また、授業内での意見交換を通じて、広範な分野の理解を深めるとともに、他者の考えを尊重することの重要性を学ぶ。それゆえ、積極的な参加(出席)を期待する。</p>									
教科書および参考書	特に指定しないが、必要に応じて参考文献を紹介したい。									
履修に必要な予備知識や技能	特になし。									
使用機器	特になし。									
使用ソフト	特になし。									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	現代国際事情の基礎知識を習得し、国際社会の実像が理解できる。								
	2/4	Wordを用いて、様々な意見をまとめることができる。								
	3/5	授業に積極的に参加(出席)し、意欲的に発言することができる。								
	2	自分の意見を論理的に説明し、主張できる。								
	2/3	自分と異なる主張を聞き入れ理解し、意見の交換をすることができる。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解				10				10
		2.思考・判断				10				10
		3.態度							40	40
		4.技能・表現				10				10
		5.関心・意欲				10			20	30
	総合評価割合					40			60	100
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								
試験										

小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	講義では、各人が自身の関心のある問題について発表する時間を設ける。ここでの発表成果は成績評価の4割を占める。発表の方法、文章の作成方法などは事前に教授する。
作品	
ポートフォリオ	
その他	出席及び受講態度を重視する。これらは成績評価の6割を占める。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション (授業内容の説明や成績評価の基準などについて案内をします。)	講義	特になし。
第2回	国際社会の成立と発展 (国際社会とは何かを学び、国際問題を考えるうえでの基礎を築きます。)	講義	必要に応じて授業中に示します。
第3回	国際社会におけるマナー (各国のマナーを含む文化を学び、異文化圏の人々と交流する際に留意すべき事項を考えます。)	講義	必要に応じて授業中に示します。
第4回	世界の王室と日本の皇室 (日本のみならず世界には、君主の存在する国家が一定数存在します。日本では、近年、女性天皇、女系天皇の問題が議論されていますが、こうした論点にも触れながら、各国の王室の現状を学習します。)	講義	必要に応じて授業中に示します。
第5回	日本国憲法 (国際問題を考える際、日本の立場を知っている必要があります。この回では日本の法の根幹である憲法をとりあげます。)	講義	必要に応じて授業中に示します。
第6回	文章構成法 (発表する際に必要な事を講義します。)	講義	必要に応じて授業中に示します。
第7回	発表①	発表、講義	報告者は準備が必要です。
第8回	国際法 (国際社会のルールである国際法について学びます。また、「戦争」になった時どういうルールがあるのかについても考えます。)	講義	必要に応じて授業中に示します。
第9回	発表②	発表、講義	報告者は準備が必要です。
第10回	自衛権問題 (どういう場合に「戦争」になるのか。それは、今日では自衛権がいつ行使されるのかという問題です。この回では、自衛権に関する問題を議論します。)	講義	必要に応じて授業中に示します。
第11回	発表③	発表、講義	報告者は準備が必要です。
第12回	日本の宇宙開発 (宇宙開発を通じて国際社会の背景や問題などを見ていきます。また、日本には「平和利用」に関連して特有の国内事情がありましたが、その点も含め、日本の宇宙開発を学びます。)	講義	必要に応じて授業中に示します。
第13回	発表④	発表、講義	報告者は準備が必要です。

第14回	諸外国の宇宙開発 (アメリカを中心に各国の宇宙開発を学びます。)	講義	必要に応じて授業中に示します。
第15回	発表⑤	発表、講義	報告者は準備が必要です。